

競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会競技注意事項により行う。

2 競技者の招集について

- (1) 招集所は、フィニッシュ後方の器具庫に設ける。
 (2) 招集開始時刻および招集完了時刻はすべてその競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻	種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前	棒 高 跳	50分前	40分前
フィールド競技	40分前	30分前			

(3) 招集方法

- ア. 競技者は、招集開始時刻までには招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集完了時刻には各競技場所へ移動を開始する。
 イ. 当該競技を棄権する場合は、その旨を必ず競技者係に申し出ること。
 ウ. 他の種目とほぼ同時時刻に兼ねて出場する競技者は、予め二種目同時出場届を提出し、その旨を必ず競技者係に申し出ること。(トラック競技を優先とする)
 エ. リレー競技のオーダー提出は、その種目の招集完了時刻の1時間前とする。

3 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることはできない。

4 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。

5 トラック競技出場者は、腰ナンバーカードを招集所点呼の時に受け取り、右腰やや後方につけること
 1500m以上の種目に出る選手は、レーン番号のビブスを招集所点呼の時に受け取り、胸、背中につけること。

6 一般・高校男女1000mについて

午前・午後と最大2本出場することができる。午後について、以下の流れで行なわれる。

- (1) 出場の意思がある場合、午前中の100m終了30分後までに本部棟横の掲示板の用紙のレーン番号に○印を付ける。
 (2) ○印を付けた選手で番組編成を行い、出場リストを本部棟横の掲示板及び速報サイトに表示する。
 (3) 午後の出場が確認された選手は、上記の通りに招集し出場することができる。
 ※ 午前の競技を棄権していても、午後の競技に出場することができる。

7 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりとする。

走高跳	共通男子	練習 1m25 競技 1m30～1m80 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
	共通女子	練習 1m20 競技 1m25～1m50 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
棒高跳	共通男子 A	練習 2m80 3m40 競技 3m00 から 20cm 上がり 4m00 から 10cm 上がり
	共通男子 B	練習 1m80 競技 2m00～3m40 までは 20cm 上がり 以降 10cm 上がり
	共通女子	練習 1m50 競技 1m60 から 10cm 上がり

※天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。

※共通男子棒高跳については、エントリー記録が3m40以上の選手はA、それ未満の選手はBとする。

8 三段跳の踏切板については、エントリー記録が10m以下の選手はB、それ以外の選手はAとする。

9 棒高跳のポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てきの用器具については検定を通ったものを使用しても良い。

10 競技場の競走路・助走路は全天候舗装のため、競技用靴のスパイクの長さは 9mm 以下を使用しなければならない。走高跳・やり投は 12mm 以下とする。

11 その他

公開練習の時間は 8 : 15 までとする。

※ 砲丸の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	一般女子	中学女子
重さ	7.260kg	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.500kg	1.000kg

※ ハンマーの重さ

区分	一般男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg

※ 男子 110m JH・女子 100m YH・中学 1 年男子 100mH の設置

区分	ハードルの高さ	スタートから第 1 ハードルまで	ハードル間
男子 110 JH	0.991m	13.72m	9.14m
女子 100 YH	0.762m	13.00m	8.50m
中学 1 年男子 100 mH	0.838m	13.00m	8.50m